

吉野山 (ハイライトシーン) [実施日--2023年4月11日]



(メンバー) ---計10名 山本、木村、楠部、中濱、岡本、八木、山内、五所尾、上畑、有本

① (下千本の桜--その1)



② (下千本の桜--その2)



⑤ (高城山展望台)



④ (花矢倉展望台)



③ (黒門の前)



⑥ (西行庵)



⑧ (奥千本の桜--その2)



⑨ (奥千本の桜--その3)



⑦ (奥千本の桜--その1)



⑩ (奥千本の桜--その4)



吉野山

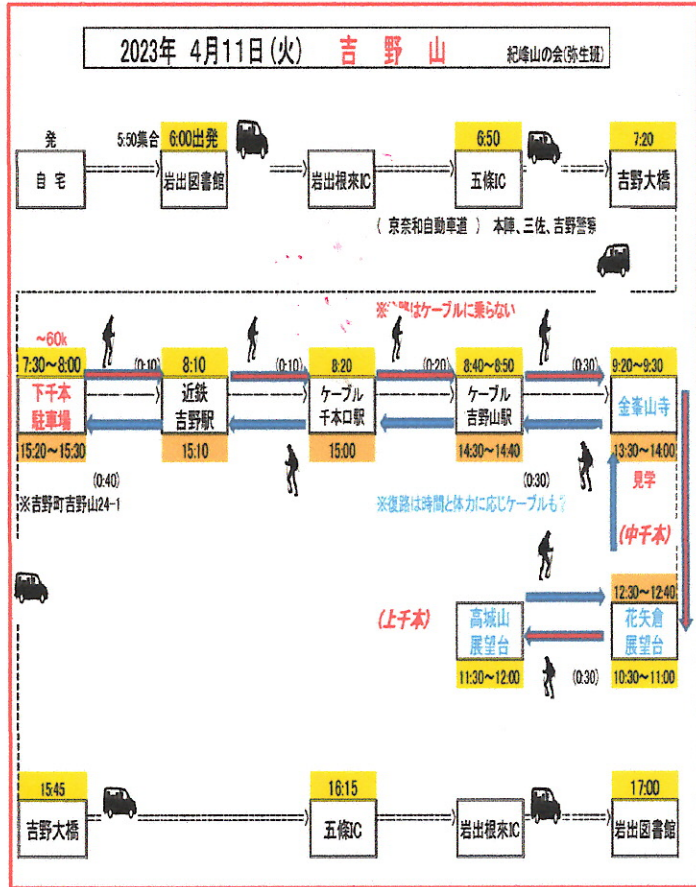
紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2023年4月11日

(メンバー) -----計 10名

※(行程) [予定]

山本、木村、楠部、中濱、岡本、
八木、山内、上畑、有本、五所尾



※(行程) [結果]

(往路---車移動)

○岩出図書館 (出発) 5:00
○下千本 駐車場 (到着) 6:30

(山行)

① 吉野駅 ----- 6:40
② 千本口駅 ----- 7:00
③ 吉野山駅 ----- 7:15
④ 金峯山寺 ----- 7:45
⑤ 花矢倉展望台 ----- 8:15
⑥ 高城山展望台 ----- 9:00
⑦ 西行庵 ----- 10:00
⑧ 高城山展望台 昼食 ----- 11:00
⑨ 駐車場 ----- 14:15

(帰路---車移動)

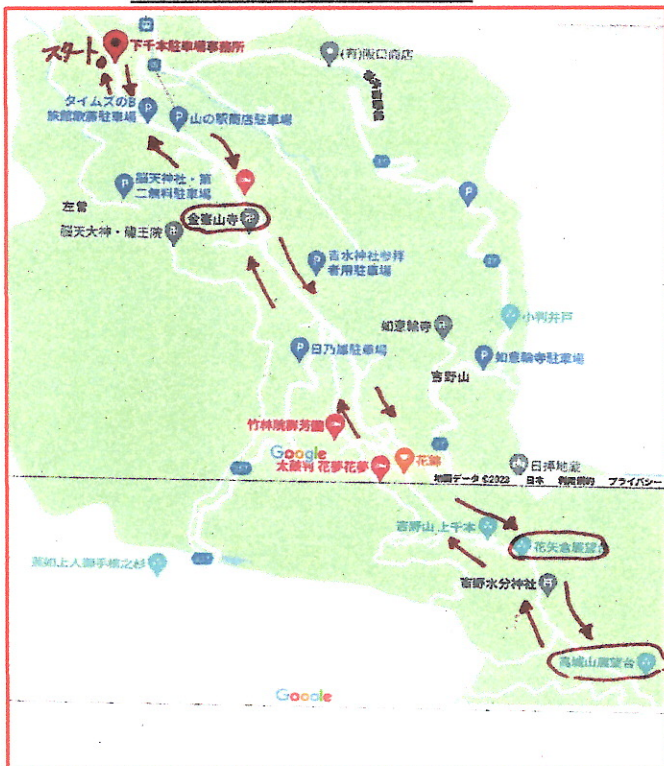
○ 駐車場 (出発) 14:30
○ 岩出図書館 (到着) 16:00

※[はじめに]

(吉野山)

- 吉野山は、奈良県の中央部・吉野郡吉野町にある吉野川（紀の川）南岸から大峰山脈へと南北に続く約8キロメートルに及ぶ尾根続きの山稜の総称、または金峯山寺を中心とした社寺が点在する地域の広域地名である。
- 日本一の「桜の名所」として有名な吉野山。春には、山全体が淡い桜色に彩られ、その壮大さは「一目に千本見えるほど」ということから「一目千本」とも称されています。
- 吉野山の桜は、修験道の開祖役行者が、修行によって日本独自の仏である金剛蔵王権現を祈りだした時、その姿をヤマザクラの木で刻みお祀りしたことが起源だと云われています。
- 吉野山には、約3万本の桜が植えられていると言われおり、区域により低いところから、**下千本・中千本・上千本・奥千本**という名称で呼ばれています。それぞれの区域には、標高、地形、日当たり、土壌などの違いがあり、その年の気候の違いと相まって、下千本から奥千本にかけて約一ヶ月もの間、多様な姿を楽しむことができるのが吉野山の桜です。

(吉野山ロードマップ)



(写真1) (6:30 下千本駐車場)



- ・岩出図書館を5時出発。京奈和道の五條 ICで降り、下千本駐車場に6時30分到着。まずは、準備体操!!

(写真2) (下千本付近の桜---その1)



- ・下千本付近の桜は、ほとんど散っていたが、残っていた桜の前で、山行初めの記念撮影。

(写真3) (下千本付近の桜---その2)



- ・あそぎの桜と姥桜?

(写真4) (黒門の前で)



- ・黒門は金峯山寺の総門で吉野山の総門でもある。昔は公家大名でもこの門からは、槍を伏せ馬をありて通行したという格式を誇っていた。-----と看板に説明があった。

(写真5) (金峯山寺)



- ・吉野山から山上ヶ岳にかけての一带は、古くから金の御岳、金峯山(きんぷせん)と称され、古代から世に広く知られた聖域とされました。白鳳時代に役行者が金峯山の山頂にあたる山上ヶ岳で、一千日間の参籠修行された結果、金剛藏王大権現を感得せられ、修験道のご本尊とされました。役行者は、山上ヶ岳の頂上と山下にあたる吉野山にお祀りしたことが金峯山寺の開創と伝えられています。(金峯山寺のホームページから引用)

(写真6) (金峯山寺の御朱印)



- ・下山時に御朱印をもらう。

(写真7) (上千本へ向かう)



・ここからが急登となる。

(写真10) (奥千本)



・弥生班の桜娘?

(写真8) (8:15 花矢倉展望台)



・晴天で気分よく、皆さん笑顔です。
小休止でおやつタイムにする。

(写真11) (奥千本の桜----その1)



・奥千本は、満開状態。

(写真9) (9:00 高城山展望台)



・葛城山や金剛山がよく見えた。

(写真12) (奥千本の桜----その2)



・奥千本の桜は、若い桜(10年程度?)が植樹されていた。眺めは最高!!

(写真 13)

(西行庵)



・『新古今和歌集』の代表的歌人の一人である西行が、武士を捨て、法師となり3年間仮住まいをしたと伝わる小さな庵。庵の中には西行像が安置されている

(写真 16)

(小休止)



・満開の桜観賞で、心を癒やす。

(写真 14)

(奥千本の桜——その3)



・眺めはが最高！！

(写真 17)

(11:00 ランチタイム)



・高城山展望台に戻りランチを楽しむ。30程度休憩し、同じコースで下山。下千本駐車へ14時15分到着し、帰路に就く。

(写真 15)

(奥千本の桜——その4)



※[最後に]

- ・特にトラブルはないが、今回は10名の参加で早いグループと遅いグループの2グループに分かれ、歩調がまばらとなった。
- ・現地に着くまでは桜観賞の時期を逸した感じをしたが、下千本、中千本、上千本、奥千本と登るにつれ環境変化を楽しむことができ、特に西行庵周辺の奥千本では、桜は満開から散りはじめ状態で見応えがあり、晴天で新緑や桜を満喫しました。